

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	廃線敷きおもてなし促進事業
事業主体 (連絡先)	ケヤキの道の会 0263-62-3082 小林 敏郎
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	583,852 円 (うち支援金: 428,000 円)

事業内容

安曇野市明科東川手にあるJR篠ノ井線廃線敷きに、地域住民と行政との協働による環境整備で沿線に3万本のケヤキの森が広がる、自然豊かな約6Kmのトレッキングコースとなり新しい安曇野の観光地となりましたが、利用者が計画的な目標を立てて観光することができず、十分な「おもてなし」ができませんでした。



【距離標設置の様子】

また、山間地に集落が点在する準過疎地で若者の人口も少なく、地域一帯となった環境整備や伝承事業の取り組みが充分行えない状況でありました。

延長4.5kmの区間に100m毎の距離標(実際に鉄道敷きに使用されているものを用いる)40本を10月に地域住民、JRの協力により設置し、地域の観光資源の向上と地域一帯となった環境整備や伝承事業の取り組みがおこなえました。

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

コースの整備により、利用者が計画的な目標を立てる目安ともなり、専用トレッキングコースとしての施設が充実し、ウォーキング、インターバル速歩に最適な実践地となりました。また当時鉄道敷きであった面影も残すことができ、近代的遺産として観光資源の質も高める相乗効果をもたらしました。

【目標・ねらい】

- 住民参加による地域資源の向上
- 地域コミュニティの醸成
- 地域観光資源の質の向上

この整備を通じ、地域自らの手により、地元にある貴重な宝を次代へ引き継いで行こうとする機運の高まりと、地域住民主体による温かみがある「おもてなし」ができる観光地としての誇りを持ち個性を生かした集客力のある地域づくりが実践できました。

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

今回の事業を通じ、今後も地域一体となった環境整備に努め、より心温まる「おもてなし」を行っていきます。また、地元小学校や、PTA、育成会などと連携し、地域の将来を担う子供たちに地域の宝、歴史的価値のある施設を次世代へ伝承していく生涯学習の場を提供し、地域への愛着、地域コミュニティの助成を図る取り組みを活性化していきます。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある